

神戸駅周辺地区浸水対策事業

改善過程の公表

C社への技術提案に対する改善過程の概要

事業件名	神戸駅周辺地区浸水対策事業
発注者	神戸市
入札公告	令和2年7月1日
技術提案書の提出	令和2年10月21日、22日
技術対話	令和2年11月19日、20日
再技術提案書の提出	令和2年12月24日、25日

※一部内容については、本資料単体で文章の意味が通じるよう神戸市が編集を加えた。

※提案の具体的内容や数値に言及するもの等は“〇〇”と記載した。

C社への改善要請事項(共通)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
要求水準書	<p>要求水準書37頁2事業用地に関する要件(1)本施設の用地に関する要件③では海岸保全施設の復旧は原形復旧とすることを定めている。原形復旧が原則であるが、ポンプ場の維持管理性等に配慮し、海岸保全施設としての機能確保を前提として、海岸保全施設である防潮堤の位置を必要最小限の範囲で変更するなどの計画も認めるものとする。但し、その具体的な計画について設計図書に追記すること。なお、海岸保全施設である防潮堤の位置の変更などについては、港湾管理者との協議が伴うため、海岸保全施設について原形復旧しか認められなかった場合についての対策も記述すること。</p>	<p>指摘に基づき追記修正。</p>

C社への改善要請事項(管路)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
詳細な施工計画	蟹川雨水幹線切替時の水替工法の決定根拠を設計図書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。
環境対策	濁水処理の当該現場への適応性について再検討すること。	指摘に基づき改善。
既設構造物への影響	蟹川雨水幹線放流先切替部において、仮設工法の選定根拠を技術提案書に記述すること。 また、雨水幹線の立坑築造時の既存施設や構造物への影響対策を記述すること。	指摘に基づき改善。
設計図書	取付管施工後からポンプ場供用開始までの間の排水方法を設計図書に記述すること。 現在、蟹川雨水幹線に接続されている取付管は、東川崎雨水幹線への切替後に撤去する必要がある。 設計図書の追加は不要であるが、工期の算定に見込むこと。	指摘に基づき改善。
設計図書	詳細設計時に土質調査をする必要がある場合は、位置と箇所数を設計図書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。
設計図書	セグメントの図面を設計図書に追加すること。 セグメント開口箇所の補強の考え方を設計図書に記述すること。	指摘に基づき改善。
設計図書	ゴム製耐摩耗板の使用延長算出根拠を設計図書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。
設計図書	空伏せ工の図面を設計図書に追加すること。	指摘に基づき追加。
設計図書	本工事(ポンプ場、放流渠含む)において地盤改良工が必要であると判断した場合は、工法とその範囲を設計図書に記すこと。	指摘に基づき追記修正。
要求水準書	要求水準書43頁第4章3(3)4)⑮)に示す要求水準を達成するよう再検討し、設計図書に記述すること。 空気圧上昇対策が不要である場合は、その理由を記述すること。	指摘に基づき改善。

C社への改善要請事項(管路)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
要求水準書	要求水準書43頁第4章3(3)4)⑩に示す要求水準を達成するよう再検討し、設計図書に記述すること。	指摘に基づき改善。
要求水準書	要求水準書43頁第4章3(3)4)⑨に示す要求水準を達成するよう再検討し、設計図書に記述すること。	指摘に基づき改善。
要求水準書	要求水準書34頁～35頁第4章1(8)4)①及び②に示す要求水準を達成するよう再検討し、設計図書に記述すること。	指摘に基づき改善。
要求水準書	要求水準書44頁第4章3(4)④に示す要求水準を達成するよう再検討し、設計図書に記述すること。	指摘に基づき改善。
その他事項	<p>到達立坑付近において、関西電力が令和2年12月以降から令和3年7月頃まで、推進工事を計画しており、立坑を設置する予定である。</p> <p>このため雨水幹線到達立坑の位置、取付管及び雨水幹線の計画は、詳細設計時に提案内容を変更すること。</p>	詳細設計で検討する。

C社への改善要請事項(施設土木)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
工期全体に係る工期短縮	全体工程表に事業全体としての準備工、後片づけおよび場内整備工を記述すること。また、表中の仮設工事についてはその内容がわかるように記述を修正し、クリティカルパスとなっているものについては、工程算出根拠資料を追加すること。	指摘に基づき追記修正。
詳細な施工計画	放流渠の一部に地盤改良を行う提案となっているが、その必要性や効果、改良範囲の考え方など、提案内容を具体的に追記すること。	指摘に基づき追記修正。
詳細な施工計画	市道生田南79号線の放流渠施工時及び既設雨水幹線(蟹川雨水幹線)放流先切替え時において、大型トラックの通行が可能である場合、その旨が分かるよう記述すること。	指摘に基づき追記修正。
耐久性の向上	ポンプ場のコンクリート配合の工夫について、設定したコンクリートのひび割れ指数について、記述すること。	指摘に基づき追記修正。
耐久性の向上	ポンプ場・放流渠・既設蟹川雨水幹線切替え部の最小鉄筋被りについて考え方と合わせて技術提案書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	ポンプ場の掘削に関する山留め壁変形図や近接影響検討で示す既設構造物の変状を把握するためのFEM解析の実施結果について技術提案書で記述されている内容の説明を助ける資料(設定条件など)を設計図書に追加すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	ポンプ場・放流渠施工時に周辺建物への影響把握を目的とする家屋調査等の調査や対策の実施についてどのように考えているか記述すること。また実施する場合、調査や対策の概要を設計図書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	ポンプ場施設の掘削に伴う既設構造物への影響確認手法が示されているが管理値を超過した場合の対策工などを実施する場合は、その旨が分かるよう記述すること。	指摘に基づき追記修正。

C社への改善要請事項(施設土木)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
既設構造物への影響	ポンプ場掘削時において既設水路への影響対策工などを実施する場合は、その旨が分かるよう記述すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	放流渠工事において〇〇工法を採用した検討経緯が分かる資料を追加すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	夜間施工時における周辺への影響対策を考慮している場合は、その旨が分かるよう記述すること。	指摘に基づき追記修正。
既設構造物への影響	公道上の鋼矢板の残置は、神戸市道路施行規則(第四条の四の六の二)では、道路構造物等の保全のためやむを得ない事情以外は残置を認めていない。 本事業において、公道部での仮設残置を計画している場合は、道路管理者が残置を認めないことが考えられるため、再考のうえ、提案内容に変更が生じる場合は、記述を修正すること。	指摘に基づき追記修正。
要求水準書	要求水準書で示す放流渠の維持管理を考慮した施設計画については、放流渠への海水の流入防止や「神戸市下水道施設指針(管路施設編)」(神戸市建設局)を参考にマンホールの設置など放流きよ内の点検・清掃が可能となるような構造とすること。 なお、構造については設計図書で示すこと。	指摘に基づき改善。
要求水準書	放流渠吐口付近の維持管理用通路については、放流渠用地東側の敷地境界線及び西側の敷地境界線から躯体端までの離隔として1.0mを確保するよう設計図面を修正すること。	指摘に基づき追記修正。
その他事項	提案するポンプ場の基礎について支持層および基礎形式の選定の考え方について設計図書に追記すること。また、支持層としている砂礫層中のN値の小さい層(No.1Bor N値 13~15)の取り扱いや支持層下層の洪積粘土層の圧密沈下の考え方など基礎検討に必要な検討項目の抽出を行い、その検討結果を合わせて追記すること。	指摘に基づき追記修正。

C社への改善要請事項(機械)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
運転管理・浸水リスクの低減	計画排水量5.7m ³ /sに対して、総排水量6.39m ³ /sであるとの提案だが、ポンプ場の能力が計画雨水量の5.7m ³ /s以上の能力を有しているように見受けられるため、記載を改めること。	指摘に基づき改善。
運転管理・浸水リスクの低減	先行待機運転の自動化システムについて、システムの詳細を追記すること。また、運転法案を整理の上、記載を改めること。	指摘に基づき改善。
運転管理・浸水リスクの低減	4号(4台目)ポンプの起動水位と揚水開始水位の関係が不明確であるため、記載を改めること。	指摘に基づき改善。
運転管理・浸水リスクの低減	雨水ポンプ場は異常降雨においても内水排除を続けるべきであると考え。これを踏まえ、自重降下式流入ゲートの採用について再検討を要望する。 また、エンジンポンプの発停回避のためにゲートの開度調整を行うとのことであるが、流量調整を行うことが困難と考えられるため、再検討を要望する。	指摘に基づき改善。 ゲートの開閉操作については、指摘に基づき、再検討の結果、提案を削除。
LCC削減	接液部の塗装膜厚について、数値の根拠(社内基準や実績等)を記載すること。	指摘に基づき追記修正。
設計図書	地下燃料タンクの容量算出根拠を基本計画書に記述すること。	指摘に基づき改善。
設計図書	沈砂池溜りの浚渫をバキューム車で行うとのことであるが、その旨を記述すること。また、作業性、安全性についても基本計画書に記述すること。	指摘に基づき追記修正。

C社への改善要請事項(電気)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
基本計画書	<p>要求水準書では維持管理事業者事務所側に監視又は監視制御装置の設置を求めている。このことを踏まえ、維持管理事業者事務所側においては事業者が有する資産において監視又は監視制御が行えるよう修正すること。(添付2のシステム構成図参照)</p> <p>ポンプ場に現場総括盤とLCD監視装置を設置する提案となっている。現場総括盤があればLCD監視装置は不要と考えるため再検討を要望する。</p> <p>また、東灘処理場には、必ずしもLCD監視装置等を設置することは求めないため再検討を要望する。</p>	指摘に基づき改善。

C社への改善要請事項(建築)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
景観対策	落葉のない植栽等、維持管理性を考慮した植栽計画とすることを要望する。	指摘に基づき改善。
要求水準書	要求水準書51頁 第4-5-(7)-⑤に示す「アスファルト防水(A-I-1)」に対する要求水準を達成するよう再検討し、記述を修正すること。	指摘に基づき追記修正。
要求水準書	要求水準書51頁 第4-5-(7)-⑤に示す「油脂庫」に対する要求水準を達成するよう再検討し、記述を修正すること。	指摘に基づき追記修正。
要求水準書	要求水準書51頁 第4-5-(7)-⑥に示す「内部仕上表の床・巾木の防塵塗料」に対する要求水準を達成するよう再検討し、記述を修正すること。	指摘に基づき追記修正。

C社への改善要請事項(建築機械)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
	なし	

C社への改善要請事項(建築電気)

項目	発注者からの改善要請事項	入札参加者の改善状況
	なし	